

感動の卒業式

3月24日(月)、第11回卒業証書授与式を、たくさんのご来賓のご臨席のもと、挙行いたしました。今年度は5名が卒業を迎えました。

式では、若干緊張した面持ちながらも、堂々とした姿で卒業証書を手にした卒業生。小学校生活最後にふさわしい、下級生の見本となる立派な姿でした。

卒業生5人による“お別れの言葉”は、6年間での成長を、一語一語に思いを込めて振り返りました。また、支えていただいた方々への感謝の気持ちと、後を託す下級生への温かいメッセージも、情感のこもった素晴らしいものでした。



一方、在校生も、これまでお世話になった卒業生一人一人との個別で具体的な思い出を振り返りながら、感謝の気持ちを自分の言葉にして呼びかけました。在校生の呼びかけの言葉は、式本番まで卒業生には内緒にしていたもので、式の中で初めて聞く下級生の言葉の中から溢れる思いを受け止め、胸がいっぱいになった子もいたようです。子ども一人一人相互のつながりの深さと、思いの強さを改めて感じるもので、私も胸にぐっと迫るものがありました。

いよいよ退場の時、卒業生へのお祝いの気持ちと、新たな門出へのエールの気持ちを込めた大きな拍手の中、本校を巣立ちゆく卒業生は、体育館を後にしました。



いよいよ4月から中学校生活が始まります。楽しい中にも、思うようにうまくいかないことに直面することが

きつとあることでしょう。しかし、式辞の中でお話したように、困難なことにも打ちひしがれることなく立ち向かい、これまで培った「かしこさ」と「やさしさ」と「たくましさ」をもとに、自信をもって夢実現への大きな一歩を踏み出してほしいと思います。職員一同、みなさんのことを応援しています。



～時代に合わせた豊かで柔軟な発想力と

変革をおそれない強さを持って～

本日3月26日(水)、修了式を迎えました。まずは、この1年間、子どもたちに事故がなく、日々元気に過ごすことができましたことに安堵しております。

今年度、「ふるさとを愛し 進んで考え行動する 笑顔輝く大田っ子の育成」を学校教育目標に据え、さまざまな教育活動を通し、その実現に向け取り組んでまいりました。感謝の会の取組でも見られたように、『よりよいものを』と、子ども自らが発案し、進んで準備に取り組み、実行していく姿は、まさに本校の目指す子どもの姿であり、その子どもたちの成長ぶりには、目を見張るものがあります。

これもひとえに、保護者の皆様・地域の皆様が、学校が主体となって取り組んでいく数々の行事や教育活動にご賛同いただき、温かなご支援をさせていただいたからこそです。

これから、社会はますます変化していきます。その中で生きる子どもたちには、時代に合わせた豊かで柔軟な発想力と、変革をおそれない強さを持った“進んで考え行動できる”人に成長してほしいと願っています。

この1年間、保護者の皆様、地域の皆様の本校の教育活動への温かいご支援・ご協力に対しまして、改めて心より感謝申し上げます。大変ありがとうございました。